



鬼塚小学校

2024年 2月 21日

道徳だより NO.12

文責：道徳教育推進教師 岡本

「ふれあい道徳教育」 ご参観ありがとうございました！

今年度も全学年で「ふれあい道徳教育」を実施しました。

1月に行った1年生、2年2組、5年2組の授業について、紹介します。



1年1組・2組 「おかあさんの つくった ぼうし」 (主題名：大すきな かぞく)

お母さんが心を込めて作った帽子が、ごちそうや金の冠よりも大切だと感じているアンデルスの気持ちについて考えました。そして、アンデルスに「変身」して、お母さんの帽子が大切な理由を話しました。最後に、「家族っていいな」と思うことを考え、発表しました。



【子どもたちが、「家族って いいな」と思うこと】

- べんきょうを おしえてくれる。
- ごはんを おいしく つくってくれる。
- いきたいところにつれていってくれる。
- ほめてくれるとき。
- お手つだいを しているとき。
- ハグしてくれる。ぎゅうしてくれる。
- かぞくのおいを かぐとき。
- いろんなしらないものをおしえてくれる。



- いっしょに おふろに入るとき。
- いっしょに ねるとき。
- 「ありがとう」って、いわれたとき。
- まもってくれる。
- たいせつに そだててくれる。
- いっしょにわらって、はなせるとき。
- かぞくみんな やさしい。かぞくみんな 大すきだよ。

【参観のご感想】

- 授業を受けている皆の顔が「アンデルスの気持ち、分かる!!」というような表情で、いつだってお母さんは愛されているなと思いました。アンデルスに変身して発表する姿も、とても可愛かったです。
- 自分はどう思ったのか、お友達はどう思ったのか、みんなで考える時間があり、クラスの子みんなよく考えていたと思います。その中で、家族への感謝の気持ちも聞けて良かったです。
- クラスの皆が家族について考えて、自分の気持ちを表現する姿がとてもほほえましく、可愛らしく、癒やされました!! お互いが当たり前にある家族の存在に感謝を感じる時間になって良かったです。
- 子供にとってお母さんが作った帽子はとても大事な物。自分の子供にとっても大事な存在でありたいと思いました。子供達の感想を聞いていても、家族って大事!! 家族っていいなって思ってくれていることが沢山聞けて、嬉しい気持ちでした。子供にとって大事なように、親からしても子供は大事な存在というのを教えていきたいと思いました。
- 「家族っていいな」と思う時の子ども達の意見を聞いて、とても心がほっこりしました。仕事等が忙しかったりするとカリカリしてしまったりするので、家族で過ごす時間は心おだやかにしなければ…と親の私自身も色々と考えさせられました。大人でも勉強になる道徳の授業でした \(\ ^\circ\ ^\)/

2年2組 「あいさつが きれいな 王さま」 (主題名: あいさつって いいね)

あいさつをしないと心の中はどうか。あいさつをすると本当に気持ちよかったり、楽しかったりするの。実際に、自分や友達のおうちの人にあいさつをして確かめました。そして、あいさつをすると、気持ちよかったり元気が出たり仲よくなったりできると気づくことができました。

【子どもたちが、考えたこと】

気持ちのよいあいさつをすると

- みんながいい気持ちになって、なかよくなる。
- 心がきれいに ととのった。



- 知らない人とあいさつすると きんちょうしたけど、いってみると 少ななかよくなれた気がしたので、うれしいです。
- あいさつをすると いい気持ちになったので、これからも「おはよう」「こんにちは」など いいたいです。

【参観のご感想】

- 活発に意見が出ていると思いました。参観に来ているお父さん、お母さんとあいさつをして握手をしようという時にも、色んな子が積極的に来てくれて、ほんわかした気持ちになりました。
- 「あいさつ」がテーマでしたが、保護者も参加する形式だったので、子供が他の親御さんともあいさつをして交流できていました。良い取り組みだったと思います。
- 子供たちが物語を通して、あいさつの持つ深い意味と共に、子供たちがそれを実践する喜びを感じている様子がとてもステキでした。親子で心温まる時間を共有できて、良い時間がすごせました。家でももっと話をしたいと思いました。ありがとうございました。
- 子供達があいさつに来てくれました。恥ずかしそうにしながらも、ニコニコ顔で一生懸命話してくれて、とても可愛く、嬉しくなりました。普段意識していませんでしたが、明るい声と笑顔で気持ちのよいあいさつを心がけたいと再認識させられました。

5年2組 「スーホの白い馬」 (主題名: 人権について考えよう)

スーホの白い馬の音読劇を通して、「スーホ、白い馬、殿様、家来などの登場人物の立場」「見た目(外見)」「人や動物の命の重み」などの視点から人権について学習しました。相手の気持ちを想像する力、やっていいことなのかと判断する力、そして、正しい行動をする力をお家の方と一緒に深く学んだ時間でした。



【参観のご感想】

- 人を身分のちがいや身なりなどで差別してはいけない、みんな平等だよという事を改めて考えさせられました。子供達が衣装や動作にもこだわっていて、たくさん練習したんだなと思ってとても感動しました。
- 劇を観て、人を外見だけで判断せず、中身を見て、良い面を見つけられるようになってくれたらと改めて思いました。人を思いやれる心を今以上に身に付けてほしいと思いました。すばらしい道徳教育でした。
- 今回いろいろな要素が含まれていましたが、権力、育てる愛、友情、貧困、お金の問題、生と死、死後も生き返る事など、グループでもそれぞれの意見を発表できていて、すごいと思いました。
- クラスみんなが一つになった感覚と一人ひとりがこの劇に取り組む力に、感激、感動を覚えました。少し泣きそうになりました。道徳の観点からみんなの意見を聞きましたが、人権に対して一人ひとりがこれから成長して行く上で向き合っていく事です。このクラスのみんなは、イジメや差別などの無い心豊かな「人財」になって欲しいし、その場面があっても、良き判断を出せる考えて動く「考動」を培って頂きたいものです。